

遊牧民伝承に基づく モンゴル草原植物資源の有効活用 による草地回復



南ゴビの無生物砂漠エリア



フスタイ草地回復試験地



薬用植物ヤルホイ

プログラム (予定)

- 10:00 開会挨拶** 浅見忠男 (横浜市立大/東京大) 「SATREPS発足までの交流と活動」
- 10:15~12:15 セッション1: 成果報告会・口頭発表** (言語: 日本語)
- 「モンゴルの遊牧と牧草の実態と草地回復プロジェクトの活動成果」 Javzan Batkhoo (NUM)
 - 「モンゴル草原植物 *Chloris virgata* の生理解析と遺伝子探索」 中野雄司 (京都大)
 - 「迅速発芽性および環境ストレス耐性を持つモンゴル草原植物の探索」 Bekh-Ochir Davaasurev (NUM)
 - 「モンゴル家畜の健康保全と維持に有用な機能性植物とサプリメント開発」 佐々木健郎 (東北医薬大)
 - 「家畜健康保全に役立つ植物・牧草の調査と成分有用性解析」 村田敏拓 (東北医薬大)
 - 「放牧モンゴル家畜における植物由来飼料添加物の研究」 Punsantsogvoo Otgonsugar (IVM)
 - 「劣化草原の回復技術の確立とレストレーションマニュアルの作成」 Jamsran Undarmaa (MULS)
 - 「ノマドガーデンの建設と成果の普及に向けた取り組み」 大黒俊哉 (東京大)

NUM : National University of Mongolia
IVM : Institute of Veterinary Medicine
MULS: Mongolian University of Life Sciences

- 12:15~13:30 休憩**
- 13:30~15:30 セッション2: 成果報告会・ポスター発表**
(言語: 英語)
- 15:30~17:00 セッション3: パネルディスカッション**
「社会実装に向けた課題」 (言語: 日本語, モンゴル語)
セッション1発表者および食糧農牧軽工業省、トゥブ県、
アルクーストソム関係者 (モンゴル側放牧地管理担当)
- 17:00~17:30 総評 (JST、JICA)**
- 17:30 閉会**

お問い合わせ先: 大黒俊哉 (東京大)
aokurot@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

日時: 2026年3月17日(火)
10時~17時30分

会場: 東京大学農学部
中島董一郎ホール
(フードサイエンス棟)

形式: 参加費無料、事前登録不要、
対面型参加のみ



会場アクセスマップ

